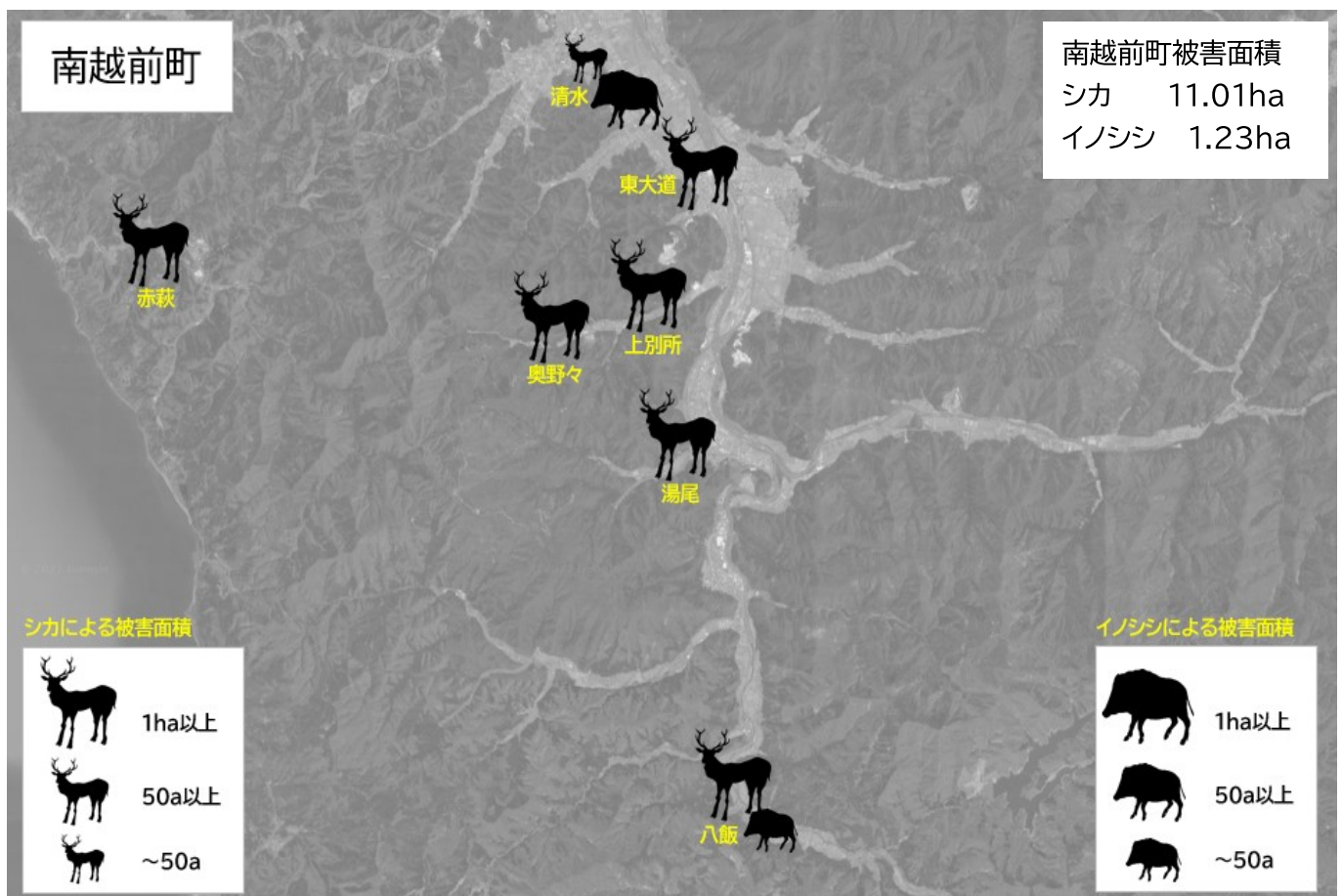
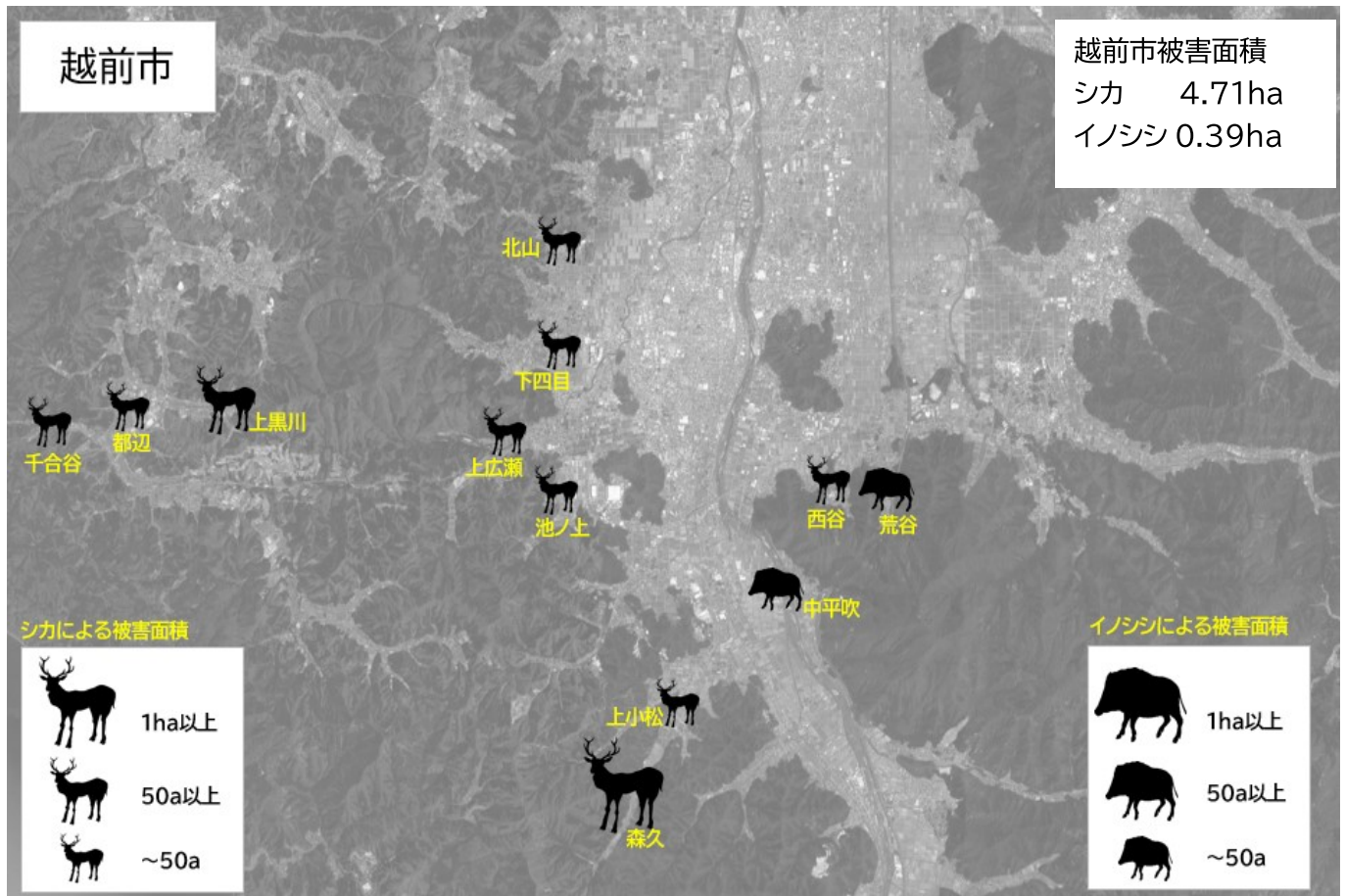


# 2021年産 水稻獣害マップ

## ■シカ・イノシシによる被害面積

※NOSAI福井の水稻共済データを引用しておりますので、被害申告のないものや、収入保険加入者の被害面積は含まれていません。

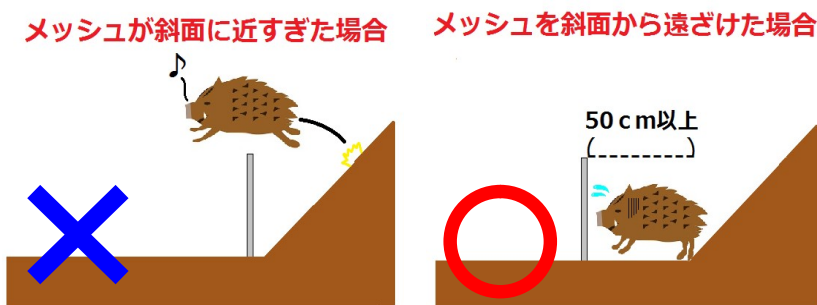
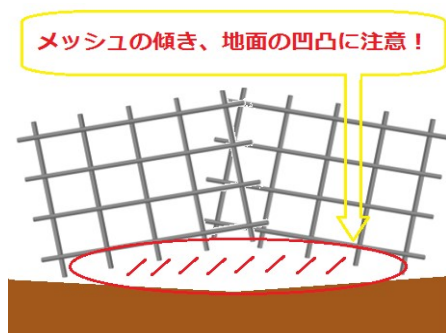


# 獣害対策～身近なことからコツコツと～

有害鳥獣の防御柵としてワイヤメッシュ柵を設置する方が増えています。設置したら終わりではなく、電気柵同様に日々の点検や管理を欠かさず行うことで、被害発生を抑え防御効果を持続させましょう。

## ■ワイヤメッシュ設置の前に

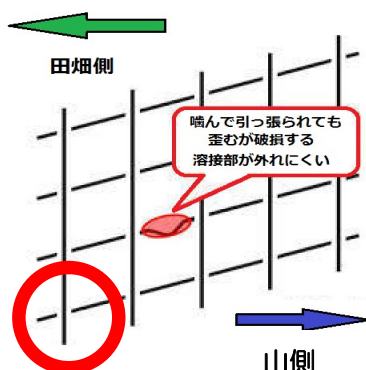
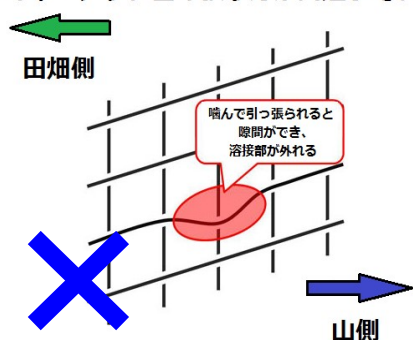
ワイヤメッシュは防御対策の一つですが、設置場所や設置方法、維持管理が適切でないとその効果はなくなりますので注意しましょう。



- ・設置予定地付近に斜面がある場合は50cm以上離れた場所に設置します。
- ・設置場所が斜面に近すぎると斜面から柵を飛び越えられます。
- ・地面の高い所は、鍬やツルハシ等で削り隙間なく設置します。

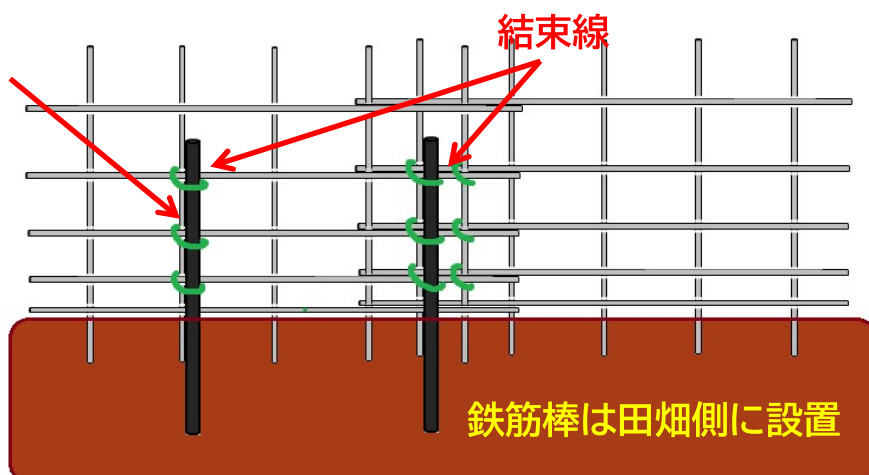
## ■正しい設置方法と注意点

ワイヤメッシュの張り方が間違っていると…



- ・山側にワイヤメッシュの縦目、田畑側に横目がくるようにします。
- ・2枚のワイヤメッシュを重ねて設置し、踏込んだりハンマーで叩いて地面との隙間を無くします。(イノシシの潜りこみ防止になります。)

- ・ワイヤメッシュの真ん中にも鉄筋棒を打込み結束線で固定します。
- ・ワイヤメッシュの網目の大きさは同じではありません。網目が細かい方を下にして設置して下さい。(ウリ坊対策)



## ■獣害対策『3つの基本』

### 重要事項

1. ワイヤメッシュや電気柵の設置後も、見回りや点検を実施する。  
不良箇所は修繕し獣の侵入を防ぐ。
2. 集落周辺にある獣の潜み場や、すみかになる場所を無くす。(雑草の処理)
3. 獣のエサとなるものを無くす。  
(放任果樹・二番穂・野菜くずを圃場や畑、山中に捨てない)